

2級建築士(令和元年) 設計製図課題の所見

【令和元年 設計製図課題】

夫婦で営む建築設計事務所を併設した住宅（木造2階建て）

要求図書: 1階平面図兼配置図、2階平面図、2階床伏図兼1階小屋伏図、立面図、断面図、部分詳細図(断面)、面積表、計画の要点等

【令和元年 課題の所見】

本課題から読み取れることは、「**建築設計事務所**」と「**住宅**」である(下記(1)、(2)参照)。更に、「**木造2階建て**」である(下記(3)参照)。

要求図書の留意点は、H26、H28、H29と同様に**断面図**、**部分詳細図**があることである。他方、**仕上表**が要求図書から外されているが、部分詳細図等で仕上げ記載される可能性はある。また、**計画の要点等**の記述問題とその記述内容と図面との整合性は、合否に大きく影響するので、ある程度、記述問題を予測して、その記述と作図の解答を事前学習しておく必要がある。

(1) 建築設計事務所

設計で求められる「**建築設計事務所**」とは、顧客が「この設計事務所へ住宅設計を依頼しよう」と思えるような事務所空間が求められる。つまり、機能性を重視した執務空間のほか、ここに設計を依頼したいと思うようなデザイン性が豊かな打合せ室、設計実績を提示したプレゼンテーション空間が求められる。更に、近年重要視されている省エネ等の環境負荷低減が施された事務所空間であることも必須事項である。

(2) 住宅

住宅は、2階となるので、概ね親子3人家族と推定できる(場合によっては親子4人家族)。木造2階建ての類似過去問を分析すると、住宅系の課題では、**必ず出題される室名**は次の通りである。

玄関
居間
食事室
台所
夫婦寝室
便所
洗面脱衣室
浴室
こども室(こどもがいる場合)

(3) 木造2階建て

過去の出題傾向は、以下の通りである。

H24: 鉄筋コンクリート造 2階建
H25: 木造 2階建
H26: 木造 2階建
H27: 鉄筋コンクリート造 3階建
H28: 木造 2階建
H29: 木造 2階建
H30: 鉄筋コンクリート造 3階建
R1: 木造 2階建

鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建ての課題出題後は、概ね2年連続で木造2階建てが出題されている。本建物は木造2階建てであり、1階が設計事務所カフェ、2階が住宅という階層別プランになると推定できる。

【研究会の解説概要】

研究会は、独学者も通学者も活用できる「**80%以上ズバリの中する予測課題**」を提供する。2級建築士の製図試験は、「**1点予測課題**」であるが、それでも過去の実績では、ほぼ80%以上の中している。その理由は、当研究会が、H24以降の過去問をすべて項目別分析していることと、それ以外の多くの情報を入力、分析して課題を予測していることにある。

学科合格された方は、多くの方が通学を選択される。しかしながら、その通学費は高額であり、簡単に選択しがたい一面がある。研究会は、H24から過去問を項目別に分析して一覧表にしている。その過去問分析と、令和元年の予測課題1案(図面1案&出題予測した計画の要点等)を熟読いただくと、通学されない方でも合格できると思っている(計画の要点等は丸暗記)。通学を選択された方であっても、研究会の過去問分析と予測課題は、一読する価値があるので、年会費2万円も考慮して、採否を検討して見てください(2級合格後、1級の学習が可能、1年後の延長年会費は1万円)。